

学校給食放射性物質検査結果について

石巻市では、平成24年8月から学校給食のより一層の安全・安心を確保するため、実際に提供した学校給食に含まれる放射性物質の有無やその量について精密検査を実施いたします。

◇検査方法

- ・ゲルマニウム半導体検出器（※1）を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法（※2）
- ・児童生徒に提供した給食1食分（主食と牛乳は除く※3）を1週間分（原則5日分）まとめて検査する。

◇検査項目

放射性セシウム134・放射性セシウム137

◇検査対象施設

市内5か所（石巻西・住吉・河北・河南・牡鹿）の学校給食センター

提供期間（日数）	検体採取センター	検査日	測定項目	結果（Bq/kg）	検出下限値※4（Bq/kg）
7月1日～7月5日（5日間）	石巻西	7月5日	放射性セシウム134	検出せず	0.4
			放射性セシウム137	検出せず	0.5
7月1日～7月5日（5日間）	住吉	7月5日	放射性セシウム134	検出せず	0.6
			放射性セシウム137	検出せず	0.8
7月1日～7月5日（5日間）	河北	7月8日	放射性セシウム134	検出せず	0.5
			放射性セシウム137	検出せず	0.5
7月1日～7月5日（5日間）	河南	7月8日	放射性セシウム134	検出せず	0.5
			放射性セシウム137	検出せず	0.5
7月1日～7月5日（5日間）	牡鹿	7月8日	放射性セシウム134	検出せず	0.5
			放射性セシウム137	検出せず	0.6

※1 ゲルマニウム半導体検出器：他の放射線検出器に比べ、物質の放射線の強さ（放射線量）を精密に計測できる検出器です。

※2 核種分析：物質の原子の種類ごとに放射線量を調べる分析法です。

※3 主食に用いる米、小麦粉、飲料水及び牛乳については、製造業者及び流通業者において放射性セシウムの確認を行っているため、検査の対象を副食とする。

※4 検出下限値：検出できる最小値で、検体ごとに変動します。